泉北教組

各地教委に教育要求書を提出 教職員の要求の一番は 「30人学級の実現」

職場要求アンケート結果より

(2)教育委員会への要求(複数回答)

1. 30人学級の実現	89%
2. 備品・消耗品の充実	74%
3. 教職員の増員	68%
4. 賃金を上げてほしい	66%
5. 免許更新制度廃止	61%
6. 「評価・育成」システム廃止	57%
7. 事務や書類の簡素化	53%

春からみなさんにご協力をお願いしていました職場要求アンケートが一定数集まり集計を試みました。このアンケートは大きく分けて3つに分かれます。

(1) 職場の教職員の勤務状態
 (2) 教育委員会へ望むこと
 (3) 各学校の施設・設備の改善要求

泉北教組では、このアンケートをもとに教育要求書をまとめ各地教委に提出をしました。教育委員会からの回答を受け、毎年11月頃から、和泉市、高石市、忠岡町の教育委員会と交渉を持ちます。

さて、要求アンケートのポイントをまとめてみましょう。

(1) 教職員の勤務状態

A. 退勤時間
 18時～19時 33%
 19時～20時 28%
 17時～18時 16%
 6%存在します。定時で帰れる人は1%です。

B. 休憩時間
 とれていない 78%
 時々とれている 14%
 昼の時間帯は給食や昼食指導で休憩をとれていませんし、職員室へ戻ってきてても電話受けや児童生徒との会話などがありますから、休憩には本来カウントされません。

(2) 教育委員会に望むこと(上記枠内に主なものを載せています)

(3) 各校の施設・設備要求
 各校から出された要求項目を、教育要求書とあわせて各教育委員会に

99%の人が毎日「超勤」です。始業8時30分からは、退勤時間は17時のはずです。

提出します。後日の交渉の際には、是非ご参加ください。

(4) その他アンケートより(主なもの)

A. 勤務時間管理
 ・勤務時間内で仕事を終えることは不可能です。公的機関ほど基準を守るべきではないでしょうか。
 ・毎月「あゝ今月は 時間、時間外勤務かあ」と更に疲れを感じてしまいます。
 ・形式的に提出することが目的になってしまっている。改善に向けての動きが見られません。

B. 職場内でのセクハラ・パワハラなど困ったこと
 ・管理職に人前で、けつこつ怒られるのでしんどいです。
 ・管理職の注意するときの口調がきつい時があり、回りで聞いていていやになることがある。
 ・管理職の力が強まり、職場の会議や合意が全く無視、あるいは学校運営に反映されていない。
 C. 府や市町に望むこと
 ・支援学級在籍児童が増え

泉北教組・重点項目(抜粋)

- 「全国学力・学習状況調査」の中止を国や府教委に求めるとともに、同調査に参加しないこと。また、序列化につながる学校別の正答率結果公表を行わないこと。
- 「大阪府チャレンジテスト」の中止を府教委に求めるとともに参加しないこと。
- 府教委がすすめる「教職員の評価・育成システム」の撤回を市教委として求めること。
- 小中学校の35人以下学級(少人数学級)が早期に実施されるよう、府や国にはたらきかけること
- 「地方教育行政法」改訂が実施されても、教育委員会の独自性、独立性を堅持すること。
- 教員免許更新制度の中止を申し入れること。教員の金銭的負担をなくすこと。
- トイレの改善 未設置の教室に、空調設備をつけること。
- 東日本大震災、津波などを教訓化し、小中学校の防災教育の見直し、各地区ごと、各校ごとの体制を早急に整備すること。【忠岡】
- 中学校給食実施にあたっては、当該中学校からの要望をきき、泉北教組とも協議すること。【忠岡】
- 給食の安全と食育の充実の観点から、従来よりの自校直営方式を守り、外部委託を行わないこと。また、給食施設の改善を行うこと。【和泉】
- 小中一貫教育を口実にした学校統廃合をしないこと。施設一体型小中一貫校については、市民や職員の声を聞いて内容を十分に検討すること。【和泉】
- 学校から要望のある施設・設備の改修に向けた予算措置を行うこと。放送施設の改修を急ぐこと。プールの改修を行うこと。【和泉】
- 労働安全衛生法に基づく「安全委員会」「衛生委員会」又は「安全衛生委員会」を町で設置すること【忠岡】

て通常学級の方が40人を超える学級が出ています。ダブルカウントしてほしい。
 ・洋式トイレでしか用を足せない児童や生徒が増えて
 いる。施設の改善を本気で考えてほしい。
 ・老朽化がすすんでいる。特に放送設備が古く音が途切れることが多い。

泉北教組に加入して、「評価・育成システム」をなくそう